じんせい

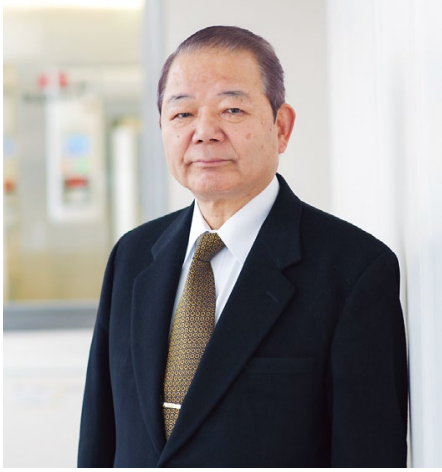
上地　一平　細木病院副院長

社会医療法人仁生会細木病院グループ情報誌　https://www.jinseikai.kochi.jp/

2019(平成31)年
3
No.387

細木病院

元に戻って一緒になろう！
…細木病院と細木ユニティ病院

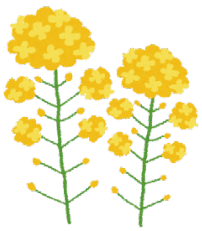


30年ぶりに年号が変わる2019年は、社会医療法人仁生会細木病院グループにも大きな変革の波が押し寄せています。

社会医療法人仁生会
細木病院グループ
理事長　細木秀美

今から22年前の平成9年4月、それまで一つだった細木病院の611床が、細木病院と細木ユニティ病院の2つに分かれました。この理由は唯一つ、病床数に比して、医師数が足らなかったことにつきます。精神神経科を分ければ、法律上の医師数をクリアできたのです。細木病院は、道路を隔てて、大きく3つの病棟群に分かれて経営されておりましたので、そのうち北の病棟群を、精神神経科病院として分割しようとしました。しかし、簡単に分けるといっても、なかなかどうして、病棟の新築や行政に出す書類の多さ、組織の構築には、本当に大変な労力と時間が掛かりました。分離する前年の平成8年11月に、古い木造の小児科と整形外科の病棟を壊して、その跡地と譲っていただいた隣接地を合わせて、新しく180床の病棟とともに、3つの手術室と広いスペースの理学療法室、地下には150名は収容できる講堂と会議室、厨房、レストラン等の入った5階建ての新館を建築することができました。建築にあたっては、斬新な設計にしようと、それまで病院を建てた経験のない、ホテル等の専門の建築設計家を選び、彼と一緒に、ハワイ、アメリカ西海岸のサンディエゴの先進的な病院を見学に行き、設計図を作成し、大成建設に建築を依頼し、大きな困難を皆で克服しながら完成させました。ハワイ海軍病院の事務長だったアンディ二宮氏には、大変お世話になりました。この下準備が整って、ようやく分離できたわけです。分離当初は戸惑うことばかりでしたが、やがて、二つの病院が当然のようになり、昔は一つの病院だったことを知る職員は、一握りの方々だけになっています。4分の1世紀近くの時間が経ち、22年目の平成31年4月に、もう一度、元のさやに収まることとなった次第です。

細木病院の病床数は、昔の611床から、499床に削減されます。しかし、高知県でも増えつつある認知症の方々は、今後、さらに増加していくことでしょう。精神科と一般科がうまく連携し合って、高齢の患者様の全人的な治療と健康維持に当たらなければならない日が来ています。再統合された新生細木病院が、これからもますます高知県の皆様の健康維持のお役に立つことができれば、望外の幸せです。



仁生会のホームページ
https://www.jinseikai.kochi.jp/

細木病院

「地域連携推進センター」が『ほそぎ連携センター』に生まれ変わりました！

細木病院では、国の施策および社会のニーズである地域包括ケア構想に沿って、地域の限られた医療資源を有効に活用するため機能分担の連携促進を目的として、平成26年7月に「地域連携推進センター」を立ち上げ、各医療機関との幅広いネットワークを築いてきました。

このたび、4月から、細木病院と細木ユニティ病院が再統合することになりましたが、これに先立って、3月1日より、細木病院の「地域連携推進センター」と細木ユニティ病院の「医療相談室」も統合され、**『ほそぎ連携センター』**という新組織に生まれ変わることになりました。新しいセンターは、①患者サポート室、②病床管理室、③病診連携室の3部署で構成されます。

患者サポート室では、病気やけがのため治療が必要となり、医療費や福祉制度について知りたい、退院後の生活が心配など生活面での不安や困りごとについて支援します。

病床管理室では、他の医療機関や施設からの入院、急性期治療を終えたのちのリハビリ目的の入院相談、院内ベッドコントロールなどを行います。この2部署は、これまでの「地域連携推進センター」における部署名と同じで変更はありませんが、新たに精神科・心療内科のスタッフを配属し、それぞれの役割と専門性を発揮できるよう態勢を整えました。

病診連携室は、これまでの「連携情報管理室」から変更するもので、主な業務内容としては登録医や地域医療機関との機能分化、連携を推進し、CTやMRI検査、各科外来受診のご予約に関する相談、調整を行います。

今後は、『ほそぎ連携センター』が再統合後の細木病院の前方連携・後方連携の窓口として、近隣地域にある医療機関や介護施設とさらなる連携を図りながら、より迅速で円滑な対応ができるよう、また地域住民がいつでもどこでも必要とされる医療サービスを受けられるよう、医療提供体制の確立を目指したいと考えております。引き続き、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

（副院長・ほそぎ連携センター長　西岡達矢）

ほそぎ連携センター

患者サポート室
・一般診療科：社会福祉士（ソーシャルワーカー）
・こころのセンター（精神科・心療内科）：精神保健福祉士

経済的問題や心理面の援助、退院支援、就労支援、
精神科デイケアや重度認知症患者デイケアの利用相談

病床管理室
・一般診療科：看護師
・こころのセンター（精神科・心療内科）：外来看護師、精神保健福祉士

ベッドコントロール、入院相談、病床相談、退院調整、病院訪問

病診連携室
・一般診療科：看護師、事務員
・こころのセンター（精神科・心療内科）：外来看護師、精神保健福祉士

患者紹介・逆紹介、オープンシステム関連、
診療情報提供書返書管理、広報、医療機関訪問

細木病院

『訪問看護ステーションほそぎ』スタート!!

～利用者さんの身体、精神面の幅広いニーズに対応し、在宅生活を支えていきます～

2月1日より、細木病院の訪問看護ステーション高知西と細木ユニティ病院の訪問看護室が統合し、名称を「訪問看護ステーションほそぎ」と改め、リニューアルしました。医療保険の訪問看護と精神科訪問看護、介護保険の訪問看護について、ステーション専属の訪問看護師7名と作業療法士1名が中心になり、非常勤の理学療法士と作業療法士、言語聴覚士もサービスを提供させていただきます。

専属職員からコメント

♥管理者・看護師・石本智枝「安全、安楽に在宅生活が継続できるように皆さんと力を合わせ今まで以上に頑張りたいと思います。」

♥看護師・谷脇貴美子「スタッフ全員で力を合わせ、利用者さんが安心して地域で生活が送れるよう今まで以上に努力していきます。」

♥看護師・大原敬子「とにかく頑張ります。」

♥看護師・五藤路可子「皆と力を合わせ利用者さんがよりよい在宅生活ができるよう頑張りたいと思います。」

♥看護師・大坪映子「適切な判断に基づいたケアとアドバイスを行い、安心して地域生活が送れるように皆で力を合わせて頑張っていきたいと思います。」

♥看護師・大野享子「一人ひとりの利用者さんが在宅での生活を元気に過ごしていただけるよう、皆で力を合わせて、支えていければと思います。」

♥看護師・宇野美樹「住み慣れた地域で、その人らしい療養生活が送れるように皆さんと力を合わせ頑張りたいと思います。」

♥作業療法士・土井真由美「その人らしく在宅で生活できるよう、一緒に考え、お手伝いができればと思っています。よろしくお願いします。」

訪問看護ステーションほそぎ

TEL&FAX：088-825-4387

営業日時　月～金　8：30～17：30
　　土　　8：30～12：30
　　＊日・祝、12/31～1/3は休業

必要時は個別対応可。お気軽にご相談ください。

在宅ネットワーク通信

精神障害者グループホームについて

細木ユニティ病院には、精神障害者グループホーム『介援隊』『介援隊2』『やまもも寮』の3施設があり、4月の病院再統合により、細木病院在宅部所属となります。

当グループホームは、障害者総合支援法に基づく入居型の障害福祉サービス（共同生活援助）事業所で、精神障害者を対象にしており、地域で自立をした生活を目指す人たちが少人数（4～5名）で共同生活を送っています。3施設のうち、男性用が『介援隊』『介援隊2』、女性用が『やまもも寮』です。利用者さんは、日中活動として、精神科デイケアや就労事業所等を利用しています。また、利用者さんの「できること」を大切にしながら、それぞれの能力、障害の状態、病状に応じて、職員が自立に向けて支援を行っています。

詳しい内容等については、グループホーム管理者までお問い合わせください。

☎802-3366

（管理者　坂本万理）

精神障害者グループホームの職員

まっことネット細木 《4月の予定》

高知市上町5丁目4-1ピュアリフレビル1階

☎090-7788-1305

月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

♠介護相談（相談無料）
　月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

♣まっこと講座
　10日（水）、24日（水）午後3時～3時30分

♣糖尿病教室
　18日（木）午後2時～3時

♣防災教室
　26日（金）午後3時～3時30分

♣笑いヨガ
　17日（水）午後2時～3時

♣生きがい交流広場
　20日（土）午後12時～1時

◆子育て広場「つみき」
　2日（火）午前10時～12時

◆いきいき百歳体操
　毎週月と木（祝日休み）午前10時～11時

♥参加費は無料です♥詳しくはホームページでご確認を♥

細木病院在宅部は、高知県南海トラフ地震対策優良取組事業所の5つ星認定（最高評価）を受けています。

わが国は、加速度的に少子高齢化が進み、それに伴って医療界も、年々、大きな変化に翻弄されています。そのような医療情勢に対応すべく、細木病院と細木ユニティ病院は、このたび、再統合を決断いたしました。

細木病院は、その前身である細木診療所が昭和21年7月に開業されたのが始まりです。昭和30年に細木病院（53床）に改組し、その後、徐々に病床数は増え、昭和40年に精神神経科が新設され、病床数は209床になりました。昭和42年に精神神経科病棟が完成し、昭和53年には621床となりましたが、その後の医療事情により、平成9年4月、細木病院から精神神経科が分離・独立し、細木ユニティ病院（271床）として誕生し、高知県民の精神科診療に寄与してまいりました。

それぞれ独立した両病院は、この22年間に、病床数は、細木病院が317床（一般164床、療養153床）、細木ユニティ病院が243床（精神207床、療養36床）となりました。しかし、最近の保健医療政策による療養病床の削減や病床機能の見直しなどの大きな波は、効率的な病院運営を追求することを余儀なくされ、平成31年4月1日に、両病院は再び統合することになりました。

すなわち、新しい細木病院は、わが国において増加する高齢者の認知症をはじめとする種々の疾患において、新たな地域医療や施設連携を図っていく必要があります。このような医療情勢に対応するため、細木病院は315床（一般162床、療養153床）、細木ユニティ病院は184床（精神148床、療養36床）に再編したうえで、再統合によって499床（一般162床、療養189床、精神148床）の新しい病院として高知県の医療界にあらためて漕ぎ出しました。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

細木病院 院長　**堀見 忠司**

細木病院の概要

開 設 者	社会医療法人仁生会　理事長　細木秀美
管 理 者	細木病院　院長　堀見忠司
病院理念	**「患者さんからも、地域からも、職員からも“この病院でよかった。”と心から思ってもらえる病院を目指します。」**
診療科目	総合診療科、内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、心療内科、精神科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、血管外科、脳神経外科、整形外科、小児整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、化学療法・緩和ケア科、小児科、神経小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、歯科　　計30科目
専門外来	せき外来、甲状腺外来、漢方外来、もの忘れ外来、おしりの外来、脊椎外来、小児こころの外来、補聴器外来、痛み外来（ペインクリニック）、セカンドオピニオン外来
病　　床	一般病床162床、療養病床189床、精神病床148床　　計499床
施設認定	救急告知病院、高知県精神科救急医療施設、高知県へき地医療支援病院、日本医療機能評価機構認定病院、基幹型臨床研修病院、短期入院協力病院（自動車事故による重度後遺障害者）、国の次世代育成支援一般事業主認定〔仁生会〕、高知県次世代育成支援企業認証〔仁生会〕、高知県認証介護事業所〔仁生会・在宅部〕、高知県南海トラフ地震対策優良取組事業所５つ星認定〔在宅部〕

細木病院グループは、国の次世代育成支援一般事業主認定と高知県次世代育成支援企業の認証を受けています。

このたび、平成31年4月1日より、細木ユニティ病院は細木病院と統合いたします。平成9年に分離後、22年ぶりに“再統合”することになります。

細木ユニティ病院は、『細木病院こころのセンター』として、再スタートします。時代の経過に合わせ、総合的な医療を目指すとともに、高齢者医療、地域連携医療をますます充実させてまいります。また、精神科デイケア・ショートケア「フレンズ」、重度認知症患者デイケア「デイ・アルテン」、精神障害者グループホーム「介援隊」「介援隊2」「やまもも寮」も引き続き運営してまいります。

細木ユニティ病院への長年にわたる温かいご支援に、心よりお礼申し上げますとともに、今後とも、細木病院ならびに『細木病院こころのセンター』をご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

細木病院 副院長・こころのセンター長　**吉岡 隆興**

細木病院 再統合

平成31年4月1日より細木ユニティ病院は細木病院と統合し、『こころのセンター』として再スタートします。

〒780-8535 高知市大膳町 37
TEL：088-822-7211　FAX：088-825-0909
E-mail：info@hosogi-hospital.jp
URL：http://hosogi-hospital.jp/

〔本館〕TEL：088−822−7211
FAX：088−825−0909

〔北館〕こころのセンター
TEL：088−802−3366
FAX：088−825−0915

〔新館〕

〔南館〕

細木病院グループは、高知県から、介護職員の育成や定着、利用者満足度の向上に向けて積極的に取り組んでいる介護事業所として認証を受けています。

あうん高知

南海トラフ地震を"いのぐ"つなぐ"ために

あうん高知は、高知県内の介護老人保健施設で組織する「高知県介護老人保健施設協議会」の会員施設です。本年度から、あうん高知が協議会事務局となったこともあり、災害研修の企画運営を行いました。

11月25日に、一般社団法人福祉防災コミュニティ協会認定コーチである湯井（ぬくい）恵美子先生を講師に迎え、高知市地域防災推進課の協力も得て、第1回研修会を「災害に強い街づくりと福祉施設の役割～福祉BCP策定に向けて～」をテーマに開催。仮想施設を設定し、南海トラフ地震発生時に、入所者と避難者が施設に混在する状況でどのように対応するか、グループで検討しました。次々とやって来る避難者、ペットの問題や外国人旅行者対応、投げかけられる課題にどのグループも半ばお手上げ状態。3時間半があっという間に過ぎ、終わるころには放心状態になるほど考えさせられた研修でした。第1回研修会で抽出された課題は各施設に持ち帰り、すぐに取り組めるものと計画的に行うものを整理し、第2回研修会につなげることが参加者の宿題となりました。

"いのぐ"は古い土佐弁で、「しのぐ」「生き延びる」の意味があります。

第1回研修会ワークショップの様子

第2回研修会の様子

第2回研修会は、1月25日に開催。テーマを継続し、同コミュニティ協会代表理事の鍵屋一先生を講師に、第1回研修会で浮き彫りになった課題をいかに解決に向けていくか、具体策を参加者自らが導き出せるように支援していただきました。両日合わせて120名を超える参加があり、あうん高知職員を含め、介護老人保健施設職員の「生命を守り、つなぐこと」に対する責任感を強く感じる研修会となりました。

（副施設長　小松雅理）

細木病院

日本医師事務作業補助研究会 第6回高知地方会 開催

12月8日、高新文化ホールにおいて、NPO法人日本医師事務作業補助研究会第6回高知地方会（高知県支部事務局：細木病院）が「医師事務作業補助者（臨床支援士）の今後の展望と課題」をテーマに開催され、県内外から73名の参加がありました。

同研究会の矢口智子理事長の基調講演では、「医師事務作業補助者は、医師のタスクシフティングの中で最も期待されており、医師の事務作業負担軽減、役割分担の推進、医療の効率化を進める中で、私たちの実務能力向上、業務開発、普及に取り組む必要がある」とご講演いただきました。次に2つの講演では、当日大雪のため来られなかった南木由美副理事長に代わり、渋谷由美子北海道支部長が、「人材育成についてある程度の標準化、効率的に育てる仕組みが必要であること。キャリアパスにより将来像と組織に必要な人材を明確にすることで、皆で同じ方向を向くことができること」などお話しされました。また、武田まゆみ理事からは、「自院の人事考課制度を例に、意識改革、業務改善、教育をすべて掛け算することで、個々に成果が表れ、組織やチームの生産性向上、業務提供体制の基盤強化、新たな目標を検討することが可能となった。簡素化、移管、自動化、標準化、集約化の5つで業務を改善していくとよい」とのアドバイスをいただきました。講演後は、高知県支部、愛知・岐阜支部、北海道支部からそれぞれ支部活動報告がありました。

参加者からは、「タスクシフティングの重要性やキャリアパスの必要性を痛感した」「育成計画について参考になった」などの感想が聞かれました。

（情報システム管理課　医療秘書　野村香苗）

細木病院

平成30年度認知症ケア実践報告会開催

12月10日、細木病院新館地下講堂において、「目指せ認知症ケア対応力アップ！」をテーマに、認知症ケア実践報告会が開催されました。

超高齢化社会を迎え、認知症は誰もが罹患するリスクがあり、特別な疾患ではなくなってきています。最近では、認知症への対応は、トピックスとしてマスコミや地域社会においても数多く取り上げられるようになりました。当院看護部でも、以前から認知症の患者さんへの対応力の向上とケアの充実に取り組んでおり、平成28年度からは、副師長会を中心に、認知症ケア実践報告会を開催しています。

今年度は、新2病棟（地域包括ケア病棟）から「昼夜逆転を認めた認知症患者1事例の退院支援」、新3病棟（急性期一般病棟）から「認知症加算シートチェックの現状」、南1病棟（医療療養病棟）から「認知症ケアから見えてきた・看護・介護力　南1病棟で関わった2事例から」について発表があり、看護部のほか、事務部や在宅部から計74名の参加がありました。

発表では、その人らしさを尊重したケアの提供が大切だと述べていました。また、認知症ケアの中でも最近関心が寄せられている「ユマニチュードケア」の関わりを実践したことについての発表があり、早速、「ユマニチュードケアについて学びたい、研修会をしてほしい」などの積極的な意見が多数寄せられました。

4月には、細木病院と細木ユニティ病院が再統合されます。現在、細木ユニティ病院には、認知症ケア研修終了看護師も在籍しています。今後は、認定症ケアチームの発足なども検討されており、よりよい認知症ケアが実践できるよう努力していきたいと思います。

（南3病棟看護師長　弘田美貴）

細木病院

笑いと健康～爆笑寄席二人会開催

1月19日、細木病院新館地下講堂において、当院糖尿病チームと土佐のお笑い話芸の会共同企画として、アマチュア漫談師の間六口さんと落語家の悠遊亭のん気さんによる爆笑寄席二人会を開催しました。当院では、毎年6月に糖尿病セミナーを行っており、昨年、間さんに「笑いと健康」をテーマに漫談をしていただきましたが、その際、間さんより、笑いと血糖の変化について調査ができないかと提案をいただき、このたびの爆笑寄席の開催となったものです。当日は、漫談と落語、バナナのたたき売りが披露され、大爆笑、大盛況のうちに終えることができました。観覧に来ていただいた方は大変満足していただけたようです。

「病は気から」と言います。笑いの健康に対する効能に関しては、学会などでもさまざまな報告がありますが、血糖に関しても笑いによって改善するのではないかとの報告がいくつもあります。そこで今回、爆笑寄席に来ていただいた糖尿病患者さん数名にご協力いただき、爆笑寄席の前後の血糖の変化について調べさせていただきました。結果は現在解析中ですが、これでよい結果が得られれば、糖尿病患者さんの日々の生活に笑いを積極的に取り入れることで、少しでも血糖が良くなるかもしれないといった提案ができるのではないかと期待しています。

今後も、「笑いと健康」を継続していきたいと考えておりますので、その際は皆さんぜひお越しください。

（内科副科長　篠原雅幸）

じんせい平成31年3月号（No.387）

外来担当医表

平成 31（2019）年 4 月予定

細木病院

仁生会 細木病院グループ

第二次救急医療施設（救急告示病院）

★内科初診時は、基本的に専門の内科ではなく、総合診療科または一般内科での診察となります。

〒780-8535
高知市大膳町37
☎822-7211(代)

予約電話
873-3806
ただし、小児科は
822-7211

【健康管理センター】
予約電話
822-7264

（　）のドクターは兼務です。

こころのセンター
★初診の方は予約制です。(8:30以降に外来まで、お電話でご予約ください。)
〒780-8535高知市西町100
☎802-3366(代)

診療科		月 A M	月 P M	火 A M	火 P M	水 A M	水 P M	木 A M	木 P M	金 A M	金 P M	土 A M
総合診療科		堀見 上田	品原			堀見		上田 髙橋		丸山	堀見 熊谷	
一般内科		篠原 猪狩	細木秀 弘瀬 丸山	松田 品原	篠原	古賀	高知大 菅沼教授 猪狩 髙橋	弘瀬	松田 猪狩 古賀	松田	弘瀬 篠原・古賀 (交代)	担当医 （2名）
専門内科	呼吸器内科		小林 (せき外来)	小林			小林(せき外来) (第2・4週)～15:30 新患のみ			小林	中山	
	消化器内科			中内		上田			中内	中内		
	循環器内科	高知大 瀬尾教授		山中/細木信 (交代)		山中/細木信 (交代)	中嶋	松村	山中/細木信 (交代)	西村		
	糖尿病・内分泌内科		西岡	丸山	熊谷 田口(甲状腺外来)	品原 篠原	丸山	西岡 (甲状腺外来)		西山 (甲状腺外来)		
	糖尿病センター	熊谷	中村		西岡	西岡	中村	中村				
	腎臓内科				（西岡）					高知大 寺田教授		
内視鏡センター		中内 髙橋 古賀	中内 髙橋	髙橋 上田 髙橋	中内 上田 髙橋	耕崎拓 髙橋	中内 古賀	中内 廣瀬 古賀	髙橋 上田	弘瀬 髙橋	中内 古賀	
外科		上地	尾崎 (乳腺・甲状腺)	尾崎		上地	上地・西村	尾崎	担当医	上地	高知大 花崎教授	尾崎
血管外科		西村				西村						
緩和ケア科 完全予約制				安藤	安藤			安藤	安藤	安藤	安藤	
痛み外来(ペインクリニック)				細川滋						細川滋		
脳疾患センター（脳神経外科）		栗坂	(手術)	栗坂		高知大 上羽教授		栗坂		栗坂		栗坂
整形外科 午後の診察と土曜日は手術等により変更や休診になる場合あり	1診	北岡	担当医	山川	北岡	山川	担当医	北岡	高知大池内教授 予約のみ	北岡	北岡 ～15:00	高知大喜安
	2診	山川	高知大武政	寺西	高知大泉	寺西		寺西	担当医	山中		寺西
	小児整形外科										山川	
小児科 乳児健診は金曜日午後、予防接種は水曜日午後と金曜日午後(完全予約制)	1診	堂野	新井	新井	新井	新井	堂野	中岡	新井	堂野	堂野 ～17:30	新井
	2診	細川・中岡 (交代)	堂野	齊藤	堂野	高知大医師	高知大医師 ～17:30	細川	中岡	細川	細川 ～17:30	堂野
	神経小児科 予約制		細川						細川			小児科は土曜日午後も診察あり 13:00～15:00 新井・堂野 細川(神経小児科)
	小児こころの外来 完全予約制			中岡						島崎	島崎・中岡	
耳鼻咽喉科		楯		楯	(手術)	楯		楯		楯		楯
皮膚科・形成外科		野田	野田(手術) ～15:30			野田				野田		野田 (第3週)
泌尿器科				蘆田					山本			坪井
放射線科		耕崎志		高知大南口 9:00～12:00	高知大梶原 13:30～16:30	耕崎志		耕崎志		耕崎志		
セカンドオピニオン外来 完全予約制			(細木秀) 13:00～15:00									（栗坂）
健康管理センター (健診・人間ドック)		森下		森下		森下	森下・弘瀬	森下	森下・弘瀬	森下	森下	
	乳がん	尾崎		上地				上地			尾崎	
	子宮がん			濱脇								
こころのセンター 精神科心療内科	再診	吉岡	徳岡	橋田 10:00～ 岡村 10:00～	徳岡	吉岡	弘井 岡村	徳岡 岡村	弘井 橋田	弘井	高知大 須賀 (第2・4・5週)	吉岡 (第1・3週) 弘井・橋田 (第1・3週)
	新患	徳岡			岡村	岡村		吉岡 (もの忘れ外来)	徳岡	吉岡		
	内科					松田			岡村(漢方外来) (第2・4週) 14:00～15:30			

三愛病院

★小児科の受付は、月・水・木・金は午後5時30分までです。(火曜日は午後5時で受付終了)

<訪問診療>
土曜日 9:00～14:00
担当医：大河原(おおかわら)

〒781-8136
高知市一宮西町1-7-25
☎845-5291(代)

診療科		月	火	水	木	金	土
総合診療科		武市	武市 14:00～		武市	武市	武市
内科	1診	深田 (糖尿病外来)	小野寺	深田 (糖尿病外来) 小野寺 (漢方外来) 高知大 橿尾	細木秀 (肥満外来)	坂本	中川	中川	高知大 髙崎		高知大 小笠原真	坂本
	2診	上村(うえむら)			深田 (糖尿病外来) 15:30～	高知大 小笠原史 (禁煙外来)	上村(うえむら) ～16:30	深田 (糖尿病外来)		高知大 水田 (禁煙外来)		高知大 担当医・岩崎教授 (交代)
内視鏡		小野寺				小野寺		山崎				
循環器科 予約制												高知大渡橋(おりはし) (第2週)教授
整形外科 月・火・土は予約制		高知大南場 9:30～12:00		高知大和田 9:30～12:00		森田		森田		森田		高知大泉 9:30～12:00
小児科		橋詰		高知大医師		橋詰		橋詰		橋詰		橋詰
耳鼻咽喉科		市川		市川		市川	市川 (第2・4・5週)	市川		市川	高知大 青井	高知大 市川・糀山(交代)・葛目
皮膚科 予約制												高知県立大(隔週) 池田教授
形成外科(美容) 予約制		三好 9:15～11:30		三好 9:15～11:30		三好 9:15～11:30				三好 9:15～11:30		
泌尿器科		山本 (PM:前立腺がん外来)		山本 (PM:頻尿・尿失禁外来)				山本		山本 (AM:男性更年期外来)		
レディス外来					相良(さがら)							
もの忘れ・不眠外来 予約制										上村(かみむら) (もの忘れ外来)	須賀(第1・3週) 15:30～17:00 (不眠外来)	須賀(第2・4週) 9:00～12:00 (不眠外来)
放射線科		岩井		岩井		岩井		岩井		岩井		岩井
健診室		担当医		担当医		担当医		担当医		担当医		

日高クリニック

〒781-2153
高岡郡日高村本郷滝ノ前7
☎0889-24-7785(代)

診療科	月	火	水	木	金	土
小児科／内科	松本	松本	休診	松本	松本	松本 (午後も診察あり)
整形外科						北岡 9:00～12:00

発行人 細木秀美
発行所 高知市大膳町37 ☎(088)822-7211
印刷 株式会社高知新聞総合印刷